



# むなかた市議会だより

令和4年6月定例会号

●発行 / 宗像市議会 ●編集 / 議会広報編集部  
●〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号  
●TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591  
●市議会ホームページ=http://www.city.munakata.lg.jp/050/080/index.html

全員賛成可決

## 令和4年度一般会計補正予算

令和4年第2回宗像市議会定例会を6月24日から7月20日までの27日間で開催し、市長提案議案6件、議員提案意見書案1件、発議1件について審議を行い、全て承認、可決しました。本定例会では、「市長選に伴い骨格予算として編成していた本年度当初予算に対する肉づけ予算」として、政策的な予算を計上する一般会計補正予算が提出され、全員賛成で可決しました。これにより、令和4年度一般会計予算の総額は404億3187万円となりました。また、債務負担行為、地方債の補正も行いました。補正予算の主な内容は次のとおりです。

### 新

#### 新型コロナウイルス感染症対策、持続可能な地域産業の確立 (6億3959万9千円)

- 高齢者などを対象に新型コロナワクチン4回目接種の実施
- 市内観光業者を支援する宿泊キャンペーンの実施
- 農業者支援として、化成肥料の価格上昇分に対し補助を実施
- 原油価格・物価高騰などに対する市民生活・事業者支援として下水道使用料を減免するため、下水道事業会計に繰り出し



### 災

#### 害に強いまちづくり (561万9千円)

- 市内5か所に浸水検知システムを設置し、防災情報ダッシュボードへのリアルタイム表示や関係機関と情報を共有
- 吉武地区の自主防災組織を対象に地域独自の防災マップ作成や地区防災計画立案などを推進



### 教

#### 育・子育て環境の充実と改革 (2億6553万7千円)

- 市立学校の各教室に大型モニターを配備
- (仮称)子どもの自立サポートセンターの開設準備
- 原油価格・物価高騰などに対する市民生活支援として学校や保育所などの給食で使用する食材の価格高騰分を補助



子どもの自立サポートセンター開設予定の旧正助茶屋

### 女

#### 性が働きやすい環境整備 (684万円)

- 女性が働きやすい社会環境整備を推進するため、育児や介護に携わっている市民のニーズ調査やアドバイザーによる伴走支援などを実施し、仕事と育児・介護の両立を支援

### 環

#### 境問題の解決に向けた取り組みと実践、都市循環の構築 (776万円)

- 日の里地区で電動アシストシェアサイクルの導入可能性調査を実施
- 地域特性、地域課題に合わせた脱炭素施策を提案するための調査を実施
- 藻場保全活動と脱炭素への取り組みとして藻場の二酸化炭素吸収量をクレジット化するための調査を実施



### 多

#### 様な主体との連携による世界遺産の継承 (2380万円)

- 市立学校7年生を対象に世界遺産子どもアカデミーと沖ノ島の遠望見学ツアーを実施
- 世界遺産登録5周年の記念事業として、官民協働の実行委員会を組織し本市来訪につながる事業や情報発信を実施



2022年、世界遺産登録5周年。「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群

### そ

#### 他 (1011万3千円)

- 本市の魅力を生み出し、国内外に発信するため外部メディアの活用を強化

### 公

#### 共施設包括管理委託 (債務負担行為)

複数の公共施設を包括的に維持管理する制度を導入し、令和5年度から9年度まで委託するため、9億2800万円の債務負担行為を追加



#### 主な意見

- 《賛成者の意見》
- ▽(仮称)子どもの自立サポートセンターの開設について、対象となる子どもと今後丁寧に関わりを持つてほしい。
- ▽自主防災組織の支援として、地域独自の自主防災マップを作成することを評価する。なるべく早く全地域で自主防災組織の取り組みが進むことを要望する。
- ▽公共施設包括管理委託については、多額の予算を投じた新たな事業に取り組むため、予算が適正に使われているのか、職員の見る目を養っていく環境も整備してほしい。
- ▽原油価格・物価高騰に対する市民生活支援として、下水道使用料減免や学校・保育所などの給食の食材費高騰分を補助することを評価する。

#### 令和4年度

### 下水道事業会計補正予算

#### 下水道使用料を3か月減免

#### 全員賛成可決

原油価格・物価高騰などに対する市民、事業者の経済的負担の軽減を目的として下水道使用料を減免するため、収益的収入および支出における収入総額を30億6797万7千円、支出総額を27億1790万1千円とする補正予算案が提出され全員賛成で可決しました。

これにより全ての下水道使用者約4万3000件について、月30m相当の使用料4967円を上限に、10月使用分から12月使用分までの3か月分が減免されます。9割以上の一般世帯が全額免除となる見込みです。



### 宗像志政クラブ



代表質問者

吉田 剛

#### 施政方針について



**問** コロナ禍によって本市が受けた影響と変化は。

**答** 市民の生活や地域経済に大打撃を受けたが、人口増などにより、税収減は小幅である。デジタル技術を活用した生活様式への変化により、都市部から地方への移住など社会の価値観も大きく変化し、これを定住都市である宗像にとつての追い風と捉え、都市部からの定住人口の獲得に努めるなど、的確に対応したい。

**問** アフターコロナを見据え、ピンチをチャンスととらえ、今年度に取り組み施策は。

**答** 1点目は、新型コロナウイルス感染症対策や防災・減災対策に取り組み、より安全・安心な宗像を目指すこと。2点目は、体育館への空調設備設置など教育施設の充実、保育施設の整備、GIGAスクールの推進や大学連携、不登校児童・生徒への対応強化など、教育・子育て環境の充実を図ること。3点目は、日の里・自由ヶ丘地区での団地再生の取り組みを継続・発展させ、官民連携で取り組んでいくことである。以上の3点をはじめ、全ての施策の最終目的を定住都市むなかたの実現と定め、取り組んでいく。

**問** 市長の考える人財とは。

地域を支える人であり、宗像市に住み、働き、学ぶ、市職員も含めた全ての人である。



### 日本共産党



代表質問者

末吉 孝

#### 施政方針について



**問** 市内保育施設の元副園長による暴力事件の判決に対する、市の見解と今後の保育事業の在り方は。

**答** 判決に先立ち不適切な保育を認定した。県と協力して改善指導し、再発防止に取り組んでいく。

**問** 待機児童ゼロ実現のため、保育所などの施設整備をどのように行うのか。

**答** 東郷信愛幼稚園の増築、いちごの丘ごども園の改築を予定。2園で108人の定員を拡充する。

**問** 城山中学校新体育館にエアコンを設置するが、他校への設置の考えは。また、普通教室・特別教室のエアコンの清掃を教員が行っている学校があるが、今後、清掃、維持管理はどうしていくのか。

**答** 学校体育館へのエアコン設置は令和7年度を目途に全校で設置するよう調査を進めている。清掃は業者委託も含めて検討したい。

**問** 新たに(仮称)子ども自立サポートセンターを開設予定だが、なぜ開設場所が正助ふるさと村なのか。また、教育サポート室エールや引きこもり支援団体との連携はどのように考えているか。

**答** 心身の回復を図るため、自然に囲まれ屋外での体験を日常的に行える環境が望ましく、福岡教育大学や日赤看護大学と連携しやすい場所である。子ども相談支援センターを中心に、スクールソーシャルワーカー、小中学校、大学、地域住民、企業、民間団体などとの連携をしっかりと進める。



### 公明党



代表質問者

岡本 陽子

#### 人・環境・経済を未来につなぐ



**問** (仮称)子ども自立サポートセンターを開設する理由は。また、コーディネーター役が必要と考える理由は。

**答** ひきこもり傾向にある不登校児童・生徒が増えていく現状や現場の意見も踏まえ総合的に判断した。スクールソーシャルワーカーや子ども家庭相談員がコーディネーター役を担い、配置職員と共に個別支援を行う。半導体生産に関わる企業誘致の可能性は。

**問** 地域の産業に大きな波及効果をもたらすため、可能性のある企業へ働きかけたい。

**答** 藻場再生をさらに加速させるため、宗像版ブルーカーボン・オフセット制度(※1)を導入できないか。

### 未来むなかた



代表質問者

上野 崇之

#### 「定住都市むなかた」の在り方は



**問** 全ての取り組みの最終目的は「定住都市むなかたの実現」と示されている。本市の人口や産業などの現状と課題は。

**答** 人口は微増か維持の傾向が続く一方、産業は従業員1人当たり付加価値額や住民1人当たりの所得額が全国平均より低いなどの課題がある。



ひのさと48



藻場の様子

**問** 原油価格・物価高騰対策として国が示した重点項目に、地方創生臨時交付金を積極的に活用すべきと考えるが見解は。

**答** 交付金を活用し、影響を受けた市民の生活を支援するため、下水道使用料の減免や学校などの給食で使用する食材価格高騰分の補助を行う。

**問** 企業誘致担当と今後の進め方を検討したい。

**答** 都市再生の取り組みを、将来負担軽減や財政安定化の手段に結び付けていく考えが示されているが、具体例は。

**問** 日の里地区では、団地の老朽化や空洞化の問題解決だけでなく、開発促進や生活利便施設の誘致、住民の交流促進などがメディアにより多くの注目を集め、結果的に転入者や税収の増につながっている。

(※1) ブルーカーボン・オフセット制度：藻場など海の生物にCO2として取り込まれた炭素は「ブルーカーボン」と呼ばれ、その生態系の保全を支援するため、藻場などの保全活動により創出されたCO2吸収量を取引可能な状態にし、CO2削減を図る企業・団体などがそれを購入することで、排出するCO2を埋め合わせる制度。

一般質問とは、議員が市の行政事務全般について市の見解を問うものです。

令和4年6月定例会

# 一般質問

令和4年6月28日から30日までの3日間にわたって、13人の議員が市の方針や行政事務について、合計21項目の質問を行いました。

- ◆議員が質問を届け出た順に掲載しています。
- ◆掲載項目などは質問を行った議員がそれぞれの判断で選択しています。
- ◆質問の詳細については、録画映像もしくは9月下旬に公開予定の議事録をご覧ください。

※1 余水吐スリット：大雨時にため池の水が溢れないよう、安全に水を流すための施設（余水吐）にスリット（切り欠き）を入れることで、スリットの深さ分の空き容量を確保し、ため池の低水位を保つもの。  
※2 余水吐スリット：大雨時にため池の水が溢れないよう、安全に水を流すための施設（余水吐）にスリット（切り欠き）を入れることで、スリットの深さ分の空き容量を確保し、ため池の低水位を保つもの。  
※3 公定価格：国が定める基準により算定した費用。

## 防災について

宗像志政クラブ／安部 芳英



**問** 災害復旧ボランティアを募る仕組みについて、発災後の災害対応や復旧は円滑にできるのか。

**答** 宗像市社会福祉協議会と協定を締結し継続的に取り組んでいるが、災害ボランティアセンターの設置、運営に当たっては協議を始めたばかりで十分な体制とは言えない。



佐賀県武雄市の災害ボランティアセンター受付の様子

**問** 今後、課題の整理と解決に向けた取り組みを進めていく。

**答** ため池の洪水調整機能を高める効果が期待できる余水吐スリット（※2）を設置しては、また、その際に地元負担金が発生しないようにできないか。

**答** 大変有効な策である。まずは調査を行い、農業者と協議していきたい。また、ため池などの土地改良事業は原則地元負担金が発生するが、防災のための土地改良事業は、地元負担金が発生しないよう検討していきたい。

## 多様な子どもに対応できる教育を

未来むなかた／北崎 正則



**問** 本市の不登校児童・生徒の状況とその対応は。

**答** 不登校児童・生徒数は小学校で59人、中学校で148人である。各学校で生徒指導に関する組織を組み、専門家からアドバイスをもらうような仕組みをつくっている。また教育サポート室（※1）では家庭訪問支援なども実施している。



**問** どのような思いで（仮称）子どもの自立サポートセンターを新たにつくろうとしているのか。

**答** 一人の子どもも取り残さないという思いで実施したい。

**問** 特別支援学級支援員の配置状況は。

**答** 各学校の要望を聞きながら配置を行っているが、十分に配慮できている。

## SDGs 観点の養殖事業の必要性

宗像志政クラブ／小林 栄二



**問** 宗像ウニプロジェクトの概要は。

**答** 脱炭素社会、循環型経済の実現を目的に持続可能な取り組みを目指すもの。企業、大学研究機関と連携し、ウニの育成環境最適化などの実践、ビジネス化の検討、海の環境変化を記録・検証していく。また、飲食店などから廃棄食材の提供を



**問** 本市の有害鳥獣による農作物被害状況とその対策は。

**答** 令和3年度の被害額は1460万円。うちイノシシによる被害額は1150万円。稲、芋類、ミカンなど中山間地の田畑を中心に多くの被害が出ている。対策として金網柵や電気柵の導入補助を実施。また、猟友会は有害鳥獣駆除部会を組織し捕獲活動を行っている。

## 仕事と子育てを両立できる職場に

ふくおか市民政治 ネットワーク／笠井 香奈枝



**問** 本市の男性職員の育児休業取得率は令和2年度までの数年間0%であった。

**問** 男性職員が育児休業を取得していない理由は何ですか。

**答** アンケートによると「仕事が忙しかった」「所属部署の繁忙期と重なった」などの理由であった。

**問** 育児・介護休業法の改正を受け、新たに取組んでいることがあるか。

**答** 本市では、法改正前から制度の個別周知の徹底に取り組み、過去の育児休業などの取得事例を



紹介しながら、職員の意向確認を行うとともに、取得促進に努めている。

**問** 育児休業を取得しやすい職場環境づくりが大切だが、どのような取組みを考えているか。

**答** 研修などを通じて管理職に制度を周知する。また、相談があつては職員の仕事には、所属長に対して直接制度の説明をしていきたい。

## 持続可能なまちづくりの土地利用

宗像志政クラブ／伊達 正信



**問** 文化的、歴史的価値があるザビエル聖堂を含む「黙想の家」の売却が予定されているが、新たな所有者の決定後には、地域、行政が一緒になったまちづくりに取り組んでもらいたいと考える。市の考えは。

**答** 生活利便性が向上するスーパードラッグや医療施設など、都市機能を強化でき



ザビエル聖堂（名残地区）

**問** 保育士の賃金に影響する保育所の公定価格（※3）に係る地域区分は、本市は0%で近隣市と格差が大きい。国へ是正を強く要望してほしい。

**答** 近隣の自治体の地域区分まで引き上げる、行政が共通する自治体と同一基準を用いるなど改善策を提案してきたが未だに解消されていない。市の大きな課題と考えており、引き続き、国や県に是正を強く要望したい。

**問** 保育士の賃金に影響する保育所の公定価格（※3）に係る地域区分は、本市は0%で近隣市と格差が大きい。国へ是正を強く要望してほしい。

**答** 近隣の自治体の地域区分まで引き上げる、行政が共通する自治体と同一基準を用いるなど改善策を提案してきたが未だに解消されていない。市の大きな課題と考えており、引き続き、国や県に是正を強く要望したい。

## 学校の連絡手段のデジタル化を

宗像志政クラブ／石松 修



**問** 一斉メールシステム導入状況は。また、欠席・遅刻などの連絡手段のデジタル化の状況は。

**答** 一斉メールシステムは21校中20校が導入している。欠席・遅刻などの連絡手段は電話、紙メールやアプリなど3つの手段があるが、21校中3校がメールやアプリなどを利用している。導入している学校では、連絡の約9割でアプリなどが活用され、有効性を感じている。



**問** 連絡手段のデジタル化を進めることは、迅速な情報共有を実現し、学

**問** 医療的ケア児に対応するスクールナース（学看護師）の配置状況は。

**答** 適切な対応ができていない。今後、関係者と連携し支援に努めたい。

## マイナンバーカードの普及促進を

公明党／石松 和敏



**問** マイナンバーカード普及促進の進捗は。

**答** 本市での本年5月末の取得率は52.04%で、全国平均より7.38ポイント上回っている。休日開庁やサンリブ宗像内に申請サポートセンターを開設し、現在では市役所1階ロビーにマイナンバー第2弾のサポート専用コーナーを設置。また各種団体への出張申請に力を入れ始めている。



**問** マイナンバー第2弾の市民への周知は。

**答** 広報紙やHP、ライオンなどで周知している。また子育て世帯や住民税

**問** 非課税世帯への給付金案内などに2次元バーコードを記載し周知している。

**問** 総務省がマイナンバーカード普及率を交付税の算定に反映させるようだが、最高情報責任者である副市長の見解は。

**答** それを逆に好機と捉え、さらなる普及促進に努めていきたい。

## 不登校児童・生徒の総合的支援を

宗像志政クラブ／井浦 潤也



**問** 不登校児童・生徒が年々増加しており、教育サポート室（※1）も過去にない通室者数となっている。そこで、来年4月に開設予定の（仮称）子どもの自立サポートセンターの役割が重要と考えるが期待する効果は。

**答** 児童・生徒にとってエールや家庭以外の選択肢が増え、社会に向けての自立支援がしつかり行える。また、早い段階からの支援を通じてひきこもりの長期化を未然に防ぎ、ひいては保護者の支援にもつながることを



中央公園テニスコート

**問** 宗像中央公園やユリックスのテニスコートは状態が悪いが対策は。

**答** 宗像中央公園テニスコートは今年度中に修繕工事を行う予定。ユリックステニスコートは劣化した箇所を継ぎはぎしている状態で、今後、財源確保を含め対策を前向きに検討したい。



保育施設での紙おむつ処分を  
日本共産党／川内 亮



使用済み紙おむつを保育施設での処分に切り替えた自治体が増えているとの報道もある。

子ども使用済み紙おむつを保護者が持って帰る決まりになっている保育施設の数は、また、その理由と今後の対応は。

10施設ある。ほとんどの施設が、使用枚数や子どもの健康状態を保護者に把握してもらうため



認知症予防としての  
聞こえ改善対策を

補聴器は高価で高齢者には購入のハードルが高い。購入助成を行う自治体も増えているが、本市でも検討できないか。

全国市長会から国に対して加齢性難聴者への補聴器購入の補助制度創設を提言するなど、制度化に向けて動き出しているため、国の動向を注視していきたい。



市長の今後の取り組みについて  
未来保守クラブ／森田 卓也



今年度の施政方針に「定住都市むなかたの実現」を新たに定めた市長の思いを問う。

すばらしいまち宗像を引き続き維持、発展させていくため、あらゆる観点から宗像市の魅力を生かしたまちづくりを進め、宗像市に住みたい、住み続けたいという共感を生み出すことが重要と考えた。

重点的に取り組んでいく。自由ヶ丘地区では自動運転やドローンなど新技術を活用し、地区の個性を最大限に生かしたまちづくりに取り組む。

持続可能な行政サービスの提供には職員の総合力の充実が不可欠。戦略的な人づくりを進めるべきと考えられる見解は、職員への活躍の期待



豪雨による浸水対策について  
宗像志政クラブ／木藤 裕司



県が公表した洪水浸水想定区域図に釣川水系の河川が追加されたが、市民への周知は。

防災講座などの機会を活用し周知を図る。また次年度以降に防災マップの全面改訂を計画しており、その中に今回の浸水想定区域図を反映させ、さらなる周知に努めたい。

県による釣川整備だけでは水災害を完全に防ぐことはできないと考えらるがどうか。

県が行う釣川水系河川整備とあわせ、総合的かつ多層的に水災害リスクを軽減させるための取り組みを進めていきたい。



新任教員のよき引き出し指導を  
日本共産党／新留 久味子



令和2年度以降に採用した新任教員の人数は。

小学校は70人、中学校は32人を採用した。そのうち、病休休暇や退職を取得した人数は、また、退職した人数は。

6月14日時点で病休休暇や退職を14日以上連続で取得した人数は5人。また、退職者は2人。

古賀市は独自で教員を雇用し支援している。本市もきめ細かな指導を行う支援ができないか。

学力向上支援員や特別支援員など本市独自の支援策を多数実施している。

精神障がい者も事業の対象にできないか。

他自治体の実施状況を調査し、検討しよう。

導入後の経営状況は、また、成果は。

総乗客数は4万2806人、アプリ利用登録者数は2647人、利用者数は約500人である。利用者から好意的な意見が寄せられており、成果が上がっていると認識している。

大雨時の雨水の流下能力が疑問である。市としての今後の対応は。

河川管理者である県に対し山田川の現状と水災害への危険を伝えしゅんせつなどの対応を求めていきたい。



サンリブ付近の山田川

教員不足解消のため、企業などに長期派遣中の教員を現場に戻せないか。

研修は法的義務であり、研修から戻せばよいということは意味が違っている。

障害者自動車運転免許取得助成事業対象者拡充を

精神障がい者も事業の対象にできないか。

他自治体の実施状況を調査し、検討しよう。

さらなる利便性の向上、利用者の拡大、持続可能な運営体制の構築などである。

日ノ里地区での本格運行および他地域での導入可能性について検討を進めていく。



意見書

1件の意見書案を可決し、国に提出しました。

保育士の賃金及び地方公務員等の給与にかかると「地域区分」の見直しに関する意見書の提出について（全員賛成で可決）

保育所などの公定価格の地域区分は、地域ごとの民間給与水準を反映させた国家公務員・地方公務員の地域手当の支給地区分に準拠して決定され、これにより人件費の地域格差の調整が行われている。

本市に隣接する福津市は地域手当の支給割合が10%の地域に区分されているが、宗像市は0%の地域に区分されている。このことが本市の保育

所などに勤務する保育士の賃金体系および本市の地方公務員の給与体系に大きな弊害となり、人材確保にも大きく影響を及ぼしている。

このような実情を踏まえ、地域区分の見直しを次のとおり要望する。

▼本市の地域手当について、近隣市町村、特に隣接地である福津市と同一の支給指定、もしくは本市の県出先機関勤務職員と同一の支給指定に見直しをすることにより、民間保育所において安定した保育士の雇用確保、安定した運営ができるよう、地域区分の見直しを早急に行うこと。

▼市民サービスの向上のため、本市職員などの地方公務員に対する地域手当の地域区分の見直しを早急に行うこと。

政務活動費  
収支報告書を  
公開します

政務活動費とは議員の市政に関する調査研究、その他の活動に必要な経費として交付するものです。

宗像市では、議員個人に月額2万2千円（年額26万4千円）を上限として交付しています。

令和3年度は、議会全体で総額約407万円を支出しました。

議員から提出された収支報告書・領収書は、市議会のホームページで公開しています。

編集後記

今年7月の参議院選挙では、10代の投票率は34.49%で前回よりは増えたものの、全体の投票率52.05%より低いという結果でした。広報編集部でも、若い世代に政治や市議会のことを知ってもらうべく、紙面づくりを検討し、高校生との意見交換も行ってききましたが、さらなる工夫も必要だなと感じています。（上野 崇之）

コミュニティ・センターでの  
議会中継を廃止

スマートフォンやタブレットなどの情報機器が普及したこともあり、コミュニティ・センターなどでの議会中継を廃止しました。今後はインターネット中継をご覧ください。今後もわかりやすい議会映像配信に取り組んでまいります。

市議会のくわしい情報や  
議会中継はホームページを  
ご覧ください。  
宗像市議会 検索  
お問い合わせは  
議会事務局へ TEL0940(36)1119

9月定例会の日程 (予定) 日程 内容 8/26 金 本会議(議案上程、提案理由の説明) 29 月 本会議(一般質問) 30 火 本会議(一般質問) 31 水 本会議(一般質問、大綱質疑) 9/1 木 本会議予備日 2 金 総務常任委員会 5 月 社会常任委員会 6 火 建設産業 常任委員会 8 木 予算決算第1 特別委員会(※1) 9 金 予算決算第1 特別委員会(※1) 12 月 予算決算第2 特別委員会(※2) 13 火 予算決算第2 特別委員会(※2) 14 水 委員会予備日 21 水 本会議(委員会報告、質疑、討論、採決)

※1 予算決算第1…一般会計  
※2 予算決算第2…特別会計、企業会計

▼一般質問の内容は、開会3日前に議会ホームページに掲載します。▼本会議と委員会はホームページで中継しています。スマートフォン・タブレット端末でもご覧いただけます。

※新型コロナウイルス感染症の影響により日程・内容などを変更する場合があります。傍聴される際は事前にホームページで確認するか議会事務局へお問い合わせください。